

石井っ子だより

平成28年7月20日発行

7月号

発行責任者 紺野 宗作

夏休みには夏休みにしかできない豊かな体験を！

いよいよ子どもたちが楽しみにしていた夏休みが始まります。

私は、子どもたちにはいつも「夏休みには夏休みにしかできないことをしよう」と投げかけています。夏休みにしかできないこと・・・それは豊かな体験をして欲しいことを意味しています。

生活体験、社会体験、自然体験などがありますが、今の子どもはすべての体験不足であると感じます。田部井淳子（三春町出身）さんは、登山家になった理由を小学校4年生のときに登った白河の赤面山登山の感動をあげています。子どもたちは自然体験を通して、自然の美しさを発見したり、畏敬の念を抱いたりします。夏休みは、自然体験を含め様々な体験を行う絶好の機会です。様々な体験を重ねていくことは、考える力や判断力を培い、感性を豊かにしていきます。

日頃、子どもとの時間がなかなかとれないというご家庭でも、夏休みには子どもと一緒に過ごす時間を作り出し、子どもと一緒に様々な体験をし、団らんを深めて欲しいと思います。

石井小スローガンと通知票

終業式では、今年の4月の始業式に掲げた「石井小スローガン」の反省を行いました。

- いつでも どこでも あいさつを
- したしもう 読書(どくしょ)に
- いえに帰(かえ)ったら すぐ復習

あいさつは、見違えるほどよくなりました。学校では、あいさつ集会を開いたり、児童会の運営委員会が中心となってあいさつ運動をしたりするなどして、あいさつを交わし合う雰囲気が高まっていることを感じます。すばらしい成果です。読書については、朝の10分間読書が定着しています。PTA会長さんも「街角図書館」を設置してくださり、子ども達の読書活動に積極的に支援いただいております。読書は心の栄養。今後も力を入れていきたいと思っています。家庭学習では、自主学習を習慣化している子どもが増えています。一方、残念ながら宿題の忘れも目立ちます。学校で習ったことをしっかり復習できる子は学力が伸びていきます。お子さんに励ましの言葉をかけていただければありがたいです。

今日、通知票を渡しましたが、その所見にも石井小スローガンに関することが多く記述されました。その1部を紹介します。

「明るく元気に、誰に対しても気持ちの良いあいさつができます。友だちへの接し方も優しくなりました」(中略)「様々なジャンルの本をたくさん借りて読んでおり、日頃からの読書が読解力につながっています。」(中略)「家庭学習の習慣がしっかり身についており、宿題を欠かさずやるので実力が身につきました」(中略)

先生方も子どものよさを認め応援していることがよくわかります。通知票でよかったところは、さらに良く伸ばしてほしいです。また、1学期にできなかったことがあった人は2学期に目標をもってがんばって欲しいと思います。2学期の始業式、みなさんそろって元気な顔で会えるよう楽しみにしています。

通知票を持って帰ってきたら……どんな言葉をかけますか？

私は、「教育は子どものよさや可能性を伸ばすことだ」と考えています。親も教師も錯覚を起こしているときがあります。というのは「子どもが伸びたのは、一生懸命教え込んだり、励ましたりしたからだ」と思っていることです。子どもが伸びていくのは、教え込んだからではなく、その子ども自身の力によって伸びていくのです。親や教師が一番考えなければならないことは、子ども自身の力がどうすることによって発揮できるかということです。

そのためには、「子どもの意欲」を育てることが大切です。子どもが意欲を持って、何事にも進んで取り組めるならその子どもの持つ力が発揮され、伸びていきます。子どもを伸ばすためには、意欲を持たせることです。

「では、どうしたら、子どもがやる気をもてるのでしょうか？」

口で言うのは簡単ですが、がんばれと励ますだけではやる気は高まりません。私は、子どものよさを見つけ、ほめ認めていくことだと思います。

完全無欠の子どもなどはいません。その反対に、悪いことだらけ、欠点だらけの子どももいないのです。子どもには必ずいいところがあります。

ところが、悪いところをなんとか改めようと、やかましく子どもを責め立ててしまうことがあるのではないかと思います。例えば、「うちの子はいつもはつきりしなくて、いつもてきぱき動けないので本当に困っています。」などと話されたお母さんがいました。このように自分の子どもを「この子どもはこうなんだ」と思いこんでしまいますと、何から何まで先入観で見えてしまいます。それが、いつのまにか、子ども自身に移ってしまいます。

「ぼくは、いつもはつきりしなくてぐずぐずしているんだ。だから学校でも発表できないんだ」というように劣等感を持つようになります。その結果、子どもは自ら伸びようとはしない子どもになってしまいます。私は、先入観を持つことの恐ろしさをしみじみと感じます。

さて、本日、お子さんが通知票を持って帰って来たと思いますが、先生方もお子さんのよいところや課題を文章記述しております。各教科等の1番上の項目は、お子さんの各教科等に対する興味・関心・意欲を表しています。お子さんの意欲をほめ励ましたいです。通知票をきっかけに、お子さんのよさを見つけ出し、子どものやる気を伸ばせるようにしていくことが大事だと思います。

たくさんほめられた子どもは、人のよさに気づき、人を認める子どもに育っていきます。通知票をきっかけとして、学校生活面について子どもとじっくりと会話を交わす機会とし、学習面、行動面のよさを認め励ます機会にしていきたいと思います。



石井小の HP

学校の様子を知らせています。毎日更新とはいきませんが、時間があるときにはご覧ください。カウンターが2万件を超えました。